

伝承

都立富士高等学校
附属中 3年
宮本 朋音

私たちは今回、国立劇場へ行き、稽古風景を見学したり、中村時蔵先生や研修生の方にインタビューをさせていただきました。

国立劇場とは？

我が国の伝統芸能の保存と振興を図ることを目的に昭和41年に設立。平成十五年独立行政法人日本芸術文化振興会に移行。その後国立劇場は、①伝統芸能の公開、②伝統芸能伝承者の養成、③芸能に関する調査研究、記録作成、資料の収集、保存、展示などの事業を行っている。

伝統芸能の伝承方法

研修期間は2年間で、研修内容は、歌舞伎奥技、立ち廻り、化粧を中心に、日本舞踊、長唄、義太夫、鳴物、箏曲、作法穿、俳優として身につけなければならぬ基本を習得し、歌舞伎の舞台に出演することになります。しかし、ここでの研修はあくまでスタートラインに立つことが出来るようにするための研修です。本当の勉強は修了後の舞台です。伝統芸能の伝承方法は口伝が基本でマン、ツー、マンに近い少人数制で行っています。

中村時蔵先生へインタビュー

- Q ほめてのばすかしはるか？
- A ケース by ケース、人や場面による
- Q 発声方法は？
- A マイクは使わない。大きな声を出さなければならぬから、お腹から声を出す。
- Q 演技をする際に大切にしていることは？
- A その役になりきること
- Q 先生にとって歌舞伎とは？
- A 人生そのもの。ずっとやってきた(5歳から)。嫌だと言えれば辞めることもできた。女役は恥ずかしかった。しかし、歌舞伎のおかれている状況などを知らず、自分が次の世代に伝えていくべきだと思った。

稽古中に心に残った先生のお言葉

稽古でできてなければ、舞台でもできない

編集後記
普段あまり歌舞伎と接する機会は少ないのですが、今回の取材会を通して歌舞伎に興味を持つようになりました。また、日本文化は誰かが伝承することで続いていくと改めて感じたので、私は茶道を伝承していきたいと思っています。

研修生の方へインタビュー

- Q 注意されたら... どうする？ どう思う？
- A 注意されているうちが嬉しい。ありがたい。注意されたら乗直に言われたことをやる。そうすれば、先生に近づいていく。素直に受け入れる
- Q 女性の役を演じる際に注意していること。
- A 高い声を保つ
お姫様は声が高くてはだめ
- Q 歌舞伎を続けて良かったなあと思う瞬間
- A 好きだから続けている
拍手をもらったとき
- Q セリフの覚え方
- A セリフの言いまわし
反復練習
雰囲気
どんな時もいう、世界観に入る
- Q なぜ歌舞伎の世界へ入ったのか？
- A 演じるのが楽しいから。
父が日本舞踊をやっていたから。
小さい頃、日本舞踊をやっていたから。
祖母の形見が扇子だった→何かやらなければ他の人と違う人生が歩めるから。
歌舞伎を見て、引き込まれた。

時蔵先生、研修生のみなさま、
“ありがとうございました”